

## 東初石1丁目自治会自主防犯パトロール隊（千葉県）

皆さん、こんにちは。東初石1丁目自治会自主防犯パトロール隊の活動について発表いたします。我がパトロール隊は、自治会のスローガンで「安全安心の町づくり」・「絆」を大切にして活動しております。



### 活動地域等の紹介

私どもの流山市は、千葉県の北西部に位置し、人口は約16万5千人、都心から25km圏、安全安心な緑豊かな住みよい町です。市内を流れる利根運河は、春には桜が満開となり、たくさんの花見客で賑わいます。

私どもの自治会について紹介いたします。流山市には174の自治会がありますが、この1つが我々の自治会で、632所帯1,533人の町です。ちなみにお祭りが大好きな自治会です。今年の夏祭りも大いに盛り上がりました。

### 自主防犯パトロール隊の発足経緯

それでは、私どもの自主防犯パトロール隊の発足経緯について説明します。平成15年は、全国各地で子どもたちが被害に遭う事件、犯罪が多発していました。この状況を踏まえ、「自分たちの町は自分たちで守ろう」との考えで、平成15年7月に防犯パトロール隊を結成いたしました。これは流山市第1号です。平成17年の自治会役員会議で、更なる体制の強化を目指し、「自主参加型」を決定しました。早速、この年の12月18日、自治会館に22名の方が集合し、自主防犯パトロール隊の第一歩を踏み出しました。

私どもの自治会館は、平成19年10月10日、千葉県公安委員会より地域防犯情報センターに指定され、パトロール隊の拠点となっています。

#### 自治会防犯パトロール隊の発足経緯

全国各地で子供に対する事件、犯罪が多発している状況を踏まえ、「自分の町は自分で守ろう」と、防犯パトロール隊を結成しました。

- ◆平成15年7月 防犯パトロール隊が発足（流山市第1号です。）
- ◆平成17年12月  
自治会役員会議で、更なる体制強化を目指して、「自主参加型」に決定しました。
- ◆平成17年12月18日（日）  
自治会館に、22名の方が集合して、直ちにパトロール活動を行い、自主防犯パトロール隊の第一歩を踏み出しました。



自治会の防犯シンボルマークには「となり近所が見ています！」と書かれています。このシンボルマークのステッカーを全世帯に掲出しています。また、防犯パトロール実施中の旗も町内に 23 本設置してあります。



パトロールは活動拠点の自治会館に自主的に集合し、昼の部は午後 2 時 30 分から行っています。このパトロールは、子どもたちの下校時間に合わせて子どもの安全確保を中心に行うものです。夜の部は、午後 8 時から拍子木、マイクを使い、「戸締り・火の用心」を呼びかけております。現在のパトロール隊員は、男性 55 名、女性 28 名の計 83 名の構成となっております。



パトロール隊の防犯に対する知識の向上を目的として、講習会を年に 2 回開催しております。講習会は流山警察署から防犯に関する講話を聞くとともに、流山市長から御挨拶をいただきます。講習会の後は、パトロール隊全員で懇親会を実施しています。この懇親会は、隊員相互のコミュニケーションを図る場となっております、活動の源となっております。



### 子ども防犯パトロール隊の活動概要等

「子ども防犯パトロール隊」の発足経緯と活動概要について説明します。子どもたちパトロールを行いたいという希望があり、また、小さいときから防犯意識を育てることを目的に、流山警察署、流山市役所に相談し、平成 19 年 10 月 6 日に「子ども防犯パトロール隊」が発足しました。毎月第 1 土曜日午後 3 時に自治会館前の公園に集合し、町内のパトロールを実施します。防犯チョッキ、帽子、パトロール実施中の旗を持ち、町内のパトロールを行います。小さなお子さんは父兄同伴で参加します。パトロールの終了後は、犯罪や交通事故に遭わないための勉強会を実施しています。子どもたち

もパトロールに慣れたものです。ママと拍子木をたたきながら町内をパトロールした後、自治会館に戻ってきて、その月のテーマにより様々な取組を実施しています。その1つとして、流山警察署交通課のお巡りさんによる自転車教室があります。自転車に乗る前は点検しよう。皆さんは御存知ですか。「ブタはしゃべル」。これで自転車の点検箇所を勉強しました。

**子供防犯パトロール隊の活動**

活動内容

- ◆ 毎月1回 第一土曜日 午後3時から自治会館に集合し、町内のパトロールを実施します。
- ◆ 防犯チョッキ、帽子、「パトロール実施中の旗」を持参し、マイクで「防犯パトロールの実施中」と拍子木で「火の用心」の呼びかけを行います。
- ◆ 幼児の参加は、父兄同伴としています。
- ◆ パトロール終了後、子供達自身が犯罪や交通事故に遭わないための勉強をします。ビデオやDVD等を使用して、防犯活動や交通ルール等を分かり易く説明しています。



公園での自転車教室では、自転車の正しい乗り方を勉強しました。雨の日は室内で自転車教室です。ビデオ等を使用して、自転車の正しい乗り方について理解を深め、自転車に乗るときは十分に注意することをみんなで認識しました。



ヒヤリ・ハット教室では、流山警察署交通課の皆さん、流山市役所の皆さんにヒヤリ・ハットの説明を受け、子どもたちが町内の危険箇所丸印をつけ、危険な箇所を確認しました。

また、子どもたちによる交通安全紙芝居を上演し、自分たちで交通ルールについて学ぶとともに、流山市民安全パトロール隊に講話を依頼し、犯罪についてお話を聞きました。

勉強会後のお楽しみとして、ダーツゲームやお菓子をプレゼントします。

以上、「子ども防犯パトロール隊」の活動について説明をしましたが、この活動による効果について説明します。

**子供防犯パトロールの効果**

1. 子供達間の連帯が生まれた。
2. 悪い事は駄目であるとの意識を持たせた。
3. 交通ルールを守る意識を持たせた。
4. 拍子木の音は「火の用心」・・・  
この音の意味を理解させた。・・・

\*子供達がこの拍子木をたたいた事、拍子木の音を聞いて大人になる事は、意義のある事と思います。  
今後の子供達の健全育成に努めていきます。

まず、子どもたちの間の連帯が生まれました。また、子どもたちに防犯意識を持たせ、悪いことはだめであると理解させることができ、交通ルールを守る意識が芽生えました。さらに、拍子木の音は火の用心という、この意味を説明し、子どもたちが実際に拍子木をたたき町内をパトロールした経験は、とても意義あることと思います。今後とも地域の子どもの健全な育成に努めていきたいと思っております。

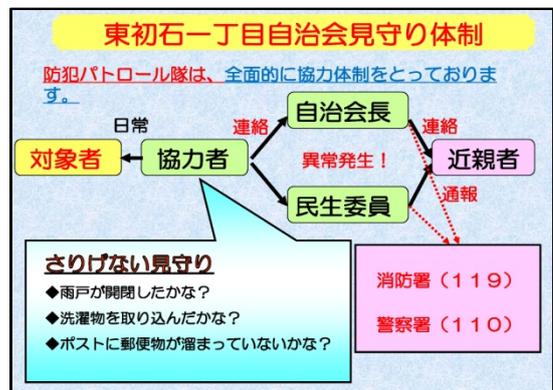
## 自主防犯パトロール隊の活動内容

次に、自主防犯パトロール隊の様々な活動について説明します。

振り込め詐欺防止やひったくり防止のチラシの配布活動を駅前やスーパーの店頭で行い、地域の皆様に御理解と御協力をお願いしました。

また、一人暮らし高齢者の見守り活動を実施しています。これは、自治会での見守りプロジェクト体制に防犯パトロール隊も全面的に協力して行っているものです。見守り活動を把握するため、アンケート調査を実施し、併せて見守り協力者を募っております。見守り協力者は見守り希望者のご近所の方で、「さりげない見守り」を行っております。

この「さりげない見守り」とは、雨戸が開いたかな、閉まったかな、洗濯物が取り込まれたかな、ポストに郵便物がたまっていないかななどを確認する見守りです。これで異常が発生した場合、協力者は自治会長又は民生委員に連絡いたします。自治会長又は民生委員は必要に応じて消防署や警察に通報するとともに、近親者の連絡先をあらかじめ聞いてありますので、速やかに近親者に連絡をいたします。



### リフォーム業者が訪問していました。

昨年確か、壁・屋根工事をを行った筈？  
(パトロール隊員が感知しました。)

民生委員・自治会長がご主人に聞いたところ、業者から壁屋根の悪い所の写を見せて「この様に傷んでいます」説明され、工事を行う事にしたとの事です。

近所の工務店員に聞いたところ、「工事の必要はまったく無い」との事でした。

早速、「流山市消費者センター」に相談したところ、この工事は高齢者を狙った「悪徳商法」である事と判明しました。このため、クーリング・オフの葉書を郵送し、事なきを得ました。(契約金額は350万円でした。)

見守り活動の具体例について説明します。

今年の2月のことです。高齢者の御夫妻の家で足場ができてのを見たパトロール隊は「何が始まるのだろう」と感じました。すると、リフォーム業者が訪問しておりました。確か、昨年秋に、壁や屋根の工事をを行ったはず。パトロール隊はピンとききました。御主人に聞いたところ、業者が何回も訪問し、壁や屋根の悪いところの写を見せて「このように傷んでいますよ」と説明され、工事契約を行ったとのことでした。近所の工務店の方に聞いたところ、「工事をしたばかりなので、全く工事は必要はない」とのことでした。早速、流山市役所消費者センターに相談したところ、これは高齢者を狙った悪徳商法であることが判明いたしま

した。契約金は350万円でした。このため、クーリング・オフのはがきを郵送し、業者が2日後、足場を撤去し事なきを得ました。全く工事の必要のない家でした。これは自治会長、民生委員、防犯パトロール隊の迅速な連携プレーの賜物と言えます。

次に、東日本大震災当日のパトロール隊の活動について説明をします。

流山市も震度5弱に見舞われました。パトロール隊が当日自治会内を点検した結果、瓦屋根の破損28件、ブロック塀の倒壊3件の被害状況を流山市に通報いたしました。

被害者の中に83歳一人暮らしの方がいました。この家の瓦屋根が約150枚落下してしまいました。余震があり、瓦の落下が続いておりましたので、私どもパトロール隊は消防へ通報し、消防隊員によりブルーシートを掛けていただき、応急処置をしていただきました。これで、高齢者の方も一安心でした。



夜のパトロール隊は「まだ余震があります。特に火の取り扱いには十分ご注意ください。」とマイクで呼びかけを行いました。また、自治会内に踏切があり、踏切の警報が鳴り止まず交通に支障があるため、交通整理を行いました。以上が東日本大震災当日のパトロール隊の活動です。

高齢者への「振り込め詐欺防止」講話会について説明します。

老人会の施策の一環として、流山警察署主催による「振り込め詐欺防止」講話会が開催され参加しました。若いお巡りさんや女子銀行員さんによる講話会を開き、詐欺には絶対に騙されないという強い気持ちを持ちました。



次に、防犯パトロール隊のその他の活動について説明します。

パトロール実施中という旗の取替え作業です。この旗の破損や汚れは防犯上好ましくありませんので、定期的に取り替えを行っております。また、防犯パトロールニュースを発行しております。これは防犯に関する情報新聞です。防犯パトロール隊の発足した平成17年12月から現在まで、75号を発行しております。毎月発行し、自治会組織を通じて全世帯に配布しており、防犯意識の向上に役立っております。

さらに、流山市、流山警察署主催の年末年始特別警戒出動式に、他の地域の防犯パトロール隊と一緒に参加しました。

ここで最近起きました、防犯パトロール中での出来事について紹介します。

パトロール中に不法投棄物を発見し、直ちに流山市役所に不法投棄物の撤収と防止措置を依頼しました。発見から数日後にはさらに大量の不法投棄物が捨てられておりました。パトロール隊はこのような行為は絶対に許しません。後日行政により不法投棄物が撤収、警告板が設置されてきれいになりました。

## 活動への参加状況とその成果

自主防犯パトロール隊の様々な活動について紹介をさせていただきましたが、発足当初から現在までの隊員の参加状況とその成果についての説明をいたします。

パトロール活動への参加状況ですが、平成17年から毎年延べ約3,700人から3,800人の参加があり、1日平均約10名の自主参加となります。平成23年は延べ3,679人、1日平均10.1人の参加がありました。パトロールは年中無休で年末年始も実施しております。この実績のとおり安定継続した活動が我々の強みです。

最後に、主な活動成果について説明します。自治会内で空き巣、車上ねらい等の発生が少なくなりました。お年寄りから「拍子木の音を聞き、安心してますよ」と感謝の声を聞くことが多く、この声が我々の励みになっております。また、防犯灯の球切れの早期発見ができるようになり、犯罪発生の防止に貢献しております。さらに、一人暮らしの高齢者の孤独死が発生しておりません。多くの成果が出ていますが、主なものを紹介させていただきました。

### 防犯パトロール隊の活動状況

#### ◆パトロール活動 延べ参加者数

平成17年12月	158人	(12月発足)
平成18年	3,853人	(1日平均10.5人)
平成19年	3,707人	(1日平均10.2人)
平成20年	3,693人	(1日平均10.1人)
平成21年	3,660人	(1日平均10.0人)
平成22年	3,760人	(1日平均10.3人)
平成23年	3,679人	(1日平均10.1人)

パトロールは年中無休で実施しています。  
(大晦日・正月も実施 但し、雨天の日は中止)

### 防犯パトロール活動の成果

- ◆地域内の空き巣、車上荒らし等の犯罪が近隣地域と比較して少なくなった。
- ◆放置自転車を発見した際、行政に通報する等で迅速な対応が図られている。
- ◆公園での夜遅くまで騒ぐ若者が少なくなった。
- ◆子供達から「ご苦労様」と声を掛けられ、子供達とのコミュニケーションが図られている。
- ◆お年寄りから「拍子木の音を聞き安心します。」と感謝されている。(これが我々のやりがいです。)
- ◆防犯灯球切れの早期発見により、業者手配までの迅速化が図られた。
- ◆パトロール隊員間の融和が図られた。(年2回の懇親会)
- ◆一人暮らしの方の高齢者の孤独死が発生していない。
- ◆一日のパトロールは約1時間で5,000歩の健康ウォーキングです。
- ◆各パトロール後のお茶会が懇親の場です。

### 流山市の犯罪発生件数の推移



参考までに、流山市の犯罪発生状況について説明いたします。

折れ線グラフが流山市全体の犯罪発生件数の推移です。青の棒グラフが隣接する自治会の犯罪件数推移です。赤のグラフが我々自治会の犯罪件数の推移で、減少傾向にあります。これは我々自主防犯パトロール隊の地味な活動の成果と確信しております。

以上、我々の活動について説明してきましたが、今後の取組といたしまして、我々自主防犯パトロール隊

は、ますます進む少子高齢化社会に向け、子ども防犯パトロール隊と共に「安全安心の町づくり」・「絆」を大切に住みよい町づくりに向け問題意識を持ち、流山警察及び流山市役所と連携を図り、更なるパトロール活動に取り組んでまいります。本日も我がパトロール隊は、パトロールに出発進行！カチ、カチ、カチ（拍子木音）！！

御清聴ありがとうございました。

## 質疑応答

---

●質問 高齢者の見守り、さりげない見守りとおっしゃっていました。ご近所の方が、雨戸が閉まったままだよとか、新聞がたまったままだよとか、そういうことに着目されるということで、その先にあったのが、近親者の方の連絡先まで聞いてありますよということでした。ともすれば、個人情報ですということで気になさる方が多い中ですが、そういった一歩踏み込んだ取組に当たっては理解や協力を得る上で配慮した点はありますか。

○回答 先ほどの発表の中でもありましたように、600世帯の自治会になります。この中でアンケートをした結果、約半数の方に答えていただきました。このアンケートの中に、協力してもいい、それから、希望するという方がいました。その中の希望する人によく尋ねてみると、近親者の住所氏名も教えていただけるということで、近親者の住所氏名は、自治会長と守秘義務のある2名の民生委員、計3名が厳重に保管しているという体制をよくお話して、御理解いただきました。